

モニター通信 No.3

皆さんから寄せられた「モニター通信9月分」を紹介します。

「インターネット(パソコン・携帯)利用で気をつけていること」他 ～トラブルにあわないための利用方法・失敗談～

モニターから No.1

インターネットを利用するのは、私の場合パソコンでのメールのやり取りやホームページの閲覧、時々野菜の種やお菓子を買ったりする程度です。あまりパソコンに詳しくないだけに、トラブルに巻き込まれるのが怖く、狭い範囲での利用しかしていません。それだけの範囲でもメールに関しては、よく言われるように知らない人からのメール、特に添付されたものは開かないことや、買い物に関しても、支払いはクレジットカードを使わないようにしています。

今のところインターネット利用でのトラブルはありませんが、気になっているのがウィルスです。ウィルス対策は、もっぱら時々帰省する息子頼みなので、次々と現れる新しいウィルスに果たして大丈夫なのかなという不安を、いつも持っています。以前使っていたパソコンでウィルス対策が不十分だったため、メールを送った相手のパソコンをウィルスに感染させてしまい、迷惑をかけたこともありました。

パソコンの使い方を教えてくれる所はたくさんありますが、その利用に関してのトラブルや危険も教えてほしいと思います。

モニターから No.2

消費生活モニターに参加して1年半になり「暮らしのセミナー」には、本当に自分自身の生き方にカツを入れて頂きました。ともすれば惰性で生きてきた私は、セミナーに参加して人生にカツを入れられました。それは「自分自身をはっきりさせろ」ということでした。物事に対応するときはどうする？相手の言うこと、その物象は何か等を真剣に考えることでした。その一例を最近の体験からお話しします。

8月、テレビ・インターネット・電話の一体になった某ケーブルテレビ会社の電話案内で、相対的に現契約会社より2000円/月安くなるとの話を受けました。最初、安くなるのに飛びつきましたが、毎月の支出費は現契約サービス品目を入れると現契約と変わらなくなるとともに、当初工事費が15,000円支出されることが分かりました。その契約はやめました。

反省すれば①相手の説明は電話で聞き出したあとの一枚のFAXのみであったこと。②相手が確かな会社との認識を持っていたことについて一寸甘くみていたことでした。

確かな相手との経験でしたが、暮らしのセミナーの講義例を参考によくよく考えると「世の中そんなに甘い話はない」ことでした。セミナーでは悪質商法の対応等勉強していますが、そのエキスは日常の生活にも十分活用できると強く感じました。

年齢を重ねると、めんどくさがるわりにいい話にはひよいと乗ってしまいがちです。まずは、身の回りからしっかりさせていきたいと思います。

モニターから No. 3-1

ありきたりですが……。少しずつ非常食を買い置きしておくようにしています。また、水が出なくなった場合を想定し、空のポリ容器(折り畳み式のものを)を玄関の収納棚に用意してあります。非常袋は今のところ一つしか準備できていないので、そのうち購入する予定でいます。たまにふと思いついた時に、家族に地域の避難場所と、何かあればそこに集合することと伝えてあります。

それぞれ少しずつ対策を進めていますが、一番大切なのは日頃からいざその時にどうするか？頭である程度想定しておくように気を付けています。

モニターから No. 3-2

訪問販売や電話勧誘販売など、記憶の曖昧さを巧みに利用した悪質な商法を最近よく耳にします。毅然とした態度ではっきり断ることが、一番大切なことだと感じます。

また、近所の人たちなどそのような被害に遭ってしまった場合や、遭いそうになったことなどを話し合うことにより、普段から気を付けることが一番であると思います。

モニターから No. 3-3

個人情報の入力の際、信頼できるサイトなのか確認しながら入力をするよう心掛けています。架空請求や迷惑メールなどもクリックしない、メールを開けないことが大事だと思います。

有料の動画サイトへ飛ばして、料金請求の表示などが出てくるサイトの被害も多いと思いますので、日頃から自己防衛をするよう心掛けています。

モニターから No. 4

ちょっと見ないうちに、こんなに迷惑メールがたまっている。最初は、携帯に届くメールをなんとかしたいけど、どうしていいか分からなかった。

携帯会社に電話して迷惑メールフィルターを設定し、拒否リストへ登録、ウィルス撃退駆除代を契約してから、なりすましメールを含めて迷惑の歌義のあるメールはほとんど入ってこなくなりました。

モニターから No. 5

携帯は電話とメール以外の利用はしていないので、特にトラブルにあったことや失敗はありません。

モニターから No. 6

インターネット(パソコン・携帯電話)利用で気を付けている点は、商品情報を見る・聞くだけで済みます。関心のある商品のより詳しい正確な知識を得ることで満足する。本当に必要で良いものを買いたい。例えば本等の場合は、図書館で読んでから買うかどうかを考えます。日用品等の場合は、信頼できる友人が購入し使用した結果や感想等をよく聞いてから、買うかどうかを考えるようにしています。

携帯に登録していない番号には、用心して出る。こちらが求めもしないのに、お安くなります

よ、便利になります等としつこいセールス電話に対しては、親戚の若い者が扱っていますのでそちらに任せて居ります・・・など、できるだけ相手を傷つけないようにハッキリお断りしています。

モニターから No. 7

今やパソコンからだけではなく、携帯からも容易にインターネットにつながる時代になった。私のパソコンにも日々色々なところから覚えのないメールが大量に入ってくる。

携帯をスマホに交換するや、連日の大量の迷惑メールに悩まされた。これらの内容はとにかく「うまい話」ばかりで、中には個人名で事故に遭って入院していて来てほしいなどと、もし知り合いに同姓の人がいたら、まんまと騙されてしまいそうなものまで。とにかくこれらの類のメールは、開けてしまったらおしまいだと思い、即削除しメールの受信設定も変更した。子供の携帯はネットにつながらないように契約内容を変更した。

しかし、メールアドレスはいったいどうして漏れてしまうのか、不思議でならない。

モニターから No. 8

私はあまりパソコンもスマホも得意ではありませんが、がんばっていろいろ勉強しています。これと言って失敗談やトラブルはありませんが、一時よくわからないところからメールが届くようになりました。クリックするとサイトにつながるようになっていますが、コワイので基本クリックはしないようにしています。そしてメール拒否設定をしました。

インターネットでの買い物もよくするのですが、大手ショッピングサイトで買うようにしています。買い物トラブルもよく耳にするので・・・。

インターネットはとても便利ですが、上手に利用しないととても危険な気がします。

モニターから No. 9

パソコンで商品を注文したり、たまに送金依頼で利用したりしています。

気を付けていることは、通常の利用先以外は利用しない。金額は必ず、何度も0の数を確認するようにしています。通常と違う操作は、まずしない。そしてほとんどの場合は、確認のメールが送られてくるので、そこで再確認できます。操作はあわてない、と心掛けています。

モニターから No. 10

携帯電話はメールを中止しています。以前は工作中、車での移動中によく迷惑メールが入り、苦勞していました。電話メーカーからの連絡・お知らせも送信しないように頼んでいます。

PCでのセキュリティは、強めの75%くらいに設定しています。また宣伝、勧誘メールはアドレスを確認して、そのまま迷惑メールに送り込みます。次回から受信はされません。(差出人・ドメインを受信拒否リストとする)

ウィルスバスターを契約していますので、3台まで接続可能です。ウィンドウズビスタ、セブンと今は2台です。どちらからもメールの送受信は可能ですが、送信分は発信したPCしか残らないのが少し不便です。

モニターから No. 11

大手食品メーカー主催の料理レシピコンテストは、ネットによる応募がほとんどだ。料理レシピサイトのメンバーになることも条件として挙げているところもあり、応募にあたって料理サイトのお試し無料プレミアム会員になった。その後はレギュラー無料会員となる。クイズに答えると、さらに一ヶ月プレミアム会員が続けられる。ここまでは問題はない。だが、注意書きを読んでいると、さらに一ヶ月続けた場合、自分でキャンセルしない限り自動継続になるのだ。キャンセルを忘れると、会員料が課金されるのだ。サイトによってはそのキャンセルがなかなかできない、つまりキャンセル情報がうまく送信されないこともあるらしい。

無料メンバーサイトは使い方次第。注意書きは、面倒でもしっかりと読んでからクリックするようにしている。

モニターから No. 12

1. PCでも携帯でも、メールアドレスをむやみに人に知らせない。今はさまざまな書類等にアドレスを書く欄があるが、記入しない。メール交換は限られた人とのみする。
2. ネットで品物を購入する際等に、ネット上で決済しない。今は品物だけでなく寄付金などもウェブで行えるようになってきていることがあるが利用せず、決済は現金で振り込むことにしている。
3. 心当たりのないメールは開かない。滅多にないが、たまに心当たりのないメールが届くことがあるが、決して開けない。
4. 高齢でもあり、必要最小限の場合のみの利用にとどめ、交流を広げない。(現在は外出に不自由を感じないが、もっと高齢になったらブログやツイッターなどを利用して、他人との交流を図らなければならなくなるかもしれない。その時はまた違った防御策をとる必要があると思う)

モニターから No. 13

インターネットを利用しないでは、現代の生活は成り立たなくなっている。しかし、その利用において多くの危険なことが言われている。その危険すべてに対策し安全に利用するために、いろいろと工夫をしているので、今までの利用歴30年間で何の被害にあったこともない。

それはまず、ファイアウォール(防火壁)を完全にすることである。何かの侵入に対して完全に守る。いくらかの費用がかかるが、自宅を防犯会社と契約して守ることと同じことである。

電子メールも現代生活には必須であるが、メールを送るには暗号化して送るメールソフトを利用する。受信メールに紛れてウィルスが入ってこないように、完全なウィルス対策ソフトを利用し、新型ウィルスに対して常にソフトウェアが更新される契約をしている。これにより、電子メールで変なものが入ってくることもない。

こちらから出ていくときには、不用・不明なサイトには入り込まないことに注意する。つまらないゲームなどをダウンロードするなど、もつてのほかである。携帯電話で何らかのつまらない電話などかかってこないように、自分のアドレス帳にない番号からの電話は受信しない設定にしてある。固定電話も同じようにしてあるから、未知の人・会社から変な勧誘・振り込め詐欺などの電話などかかってくるはずもない。

他のことすべてにおいて同じであるが、危険が潜むかもしれないこと・サービスの利用においては、事前に万全の対策をして臨むべきである。

モニターから No. 14

インターネットはあまり得意ではないので、難しいことはやらないようにしています。旅行・ホテル・海外とのメール等、できなかつたことができた時は、なんて便利でしょうと感激しましたが、注意することはインターネット関連の仕事をしている方から、以前忠告されたことがあります。

- ・銀行の金銭の出し入れは、インターネットでやらないほうが良い
- ・通帳も総合口座は危ないので、定期と普通は別にしたほうが良い

私は実際にはやっていないのでよく分かりませんが、業界にはとんでもないプロがいるので油断をしてはいけない、と念を押されました。

モニターから No. 15

今やパソコンのインターネットで情報を得たり買い物をしたりと、日常的なことが手軽に誰でもができるようになりました。私自身、パソコンを使って調べ物をしたりすることはよくありますが、買い物や旅行の申し込み等、相手があつての取り引きにほとんど使用することはありません。ネットショップ等は簡単に安く物が手に入るようですが、購入の際には自分の名前や住所はもとより、銀行口座等、個人情報を入力することが必要になってきます。安易な気持ちで始めるのは、やはり危険が伴うのでは、と慎重にならざるを得ません。

今まで述べてきたようなことをしない限り、トラブルにまきこまれることはほとんどありませんが、ネットを使っての取り引きには自己責任を伴うものであると、自覚を持ってやってほしいと思います。

そして安易な気持ちで始める前に、ある程度の知識を身に付けてから始めてほしいものです。

モニターから No. 16

ITの活用に伴うトラブルについては、まずウィルス汚染対策としては、パソコンメール受信による感染防御対策ソフトの最新版のものや、プロバイダーが提供する迷惑メール対策サービスを利用しています。しかし、アダルトサイトのメール(最近はなくなった)、ブランド品の購入斡旋やサイトの(不法?)アクセス?購入XX-CASなどの迷惑メールが時々入ってきていますが、開けないで削除するように努めています。

ウェブサイトの閲覧は、限定して主要なサイトだけ利用・閲覧しています。インターネットショッピングは大手に限り、カード決済でも利用明細はその都度確認しています。また、パスワードの使い回しを避けたり、取引対象の管理は被害にあつても残高が少ない口座を利用しています。

携帯に関しては、今のところ電話・メール通信や自分が関心ある無料サイトを使用しています。またテレフォンバンキングの利用は、パソコンの場合と同様にセキュリティに気を配っています。

モニターから No. 17

消費生活展に参加して感じたこと。

お客さんが積極的に参加していない。景品をもらえるので、それが目玉となっているような気がしました。資料をそろえたり展示は良いのですが、スクリーン(小さくても)で映像を流し、目で見て耳で聞いて、情報をとらえるのも考えてみると変化があつて良いと思います。

今回(荒川沖)は、場所的にもいろいろ制約はありますが、買い物客が結構いたので、声を掛けると寄って行ってくれました。

モニターから No. 18

パソコンは現在やっていませんのでトラブルはないですが、昨今はかなりの被害を受けている人々がいることがメディアで報じられていますね。やはり、安易な気持ちでインターネットを利用していることが原因だと思います。

私自身で気を付けていることは、携帯電話での迷惑メールなどで着信拒否の操作をしています。

モニターから No. 19

今まで特にトラブルも失敗もなくきていますが、とにかく登録をしない、不審に思うものは出ない、開けない！を心掛けています。

モニターから No. 20

私はパソコンの利用は、主にインターネットとメールです。その中で気をつけていることは、知らないメールは開かない、迷惑メールはその都度削除することです。たまにオンラインショッピングをしますが、その時は、住所・電話番号・FAX番号を掲載していない会社は信用できないと、よく確かめて利用し、支払いは商品着払いとして現金で支払うことにしています。

また携帯は非通知拒否の設定をしています。また、知らない番号は応答しないことです。

モニターから No. 21

モニターから No. 22

私はネットでよく買い物をする。注文した後に必ず確認のメールが来るが、そのメールを必ずフォルダに保存しておく。商品の到着が遅い場合は、問い合わせをするようにしている。また、商品の到着後は返品を考えて、梱包を丁寧に解くようにしている。

ネットでの注文で注意したいことは、最終確認のページがない場合があることである。某航空会社に台北までの航空券を申し込んだ際、座席指定の指定場所を変えるために入力をやリ直した。ところが、某航空会社の反応が速すぎて、同じ便に二つの席の予約が成立してしまった。この間、十数秒の出来事。早速、某航空会社に電話をして事情を話したところ、当初はクレジット決済完了なので拒否されたが、今回限りとのことで、クレジット決済を戻してもらった。外国の航空会社なので、英語の読み込みに注意しなければならないと反省した。

モニターから No. 23

7月23日のくらしのセミナー「新聞の金融・経済記事の見方」に参加しました。はじめに円高と円安を引き合いに、同じ現象でも企業にとって個人にとって、それぞれメリット・デメリットがあることを知りました。つまり、経済は同じことで常に反対の二つの影響が出ることを再認識でき、大変勉強になりました。これから経済のことを考えるときは、このことを頭に入れた上で、自分に及ぶ影響を考える意識ができました。

次に新聞を読む時のポイントで、海外の出来事も意識して、経済に与える影響を考える視点が学べたのは、為になりました。この視点は、政治や社会現象が経済や市場に近い将来与える影響を考えると時にもあてはまることに気づき、酷暑に関する記事を読みながら、自分の仕事に役立てそうだと思います。

モニターから No. 24

携帯電話を購入した時にはとても便利で使用していたものですが、その反面、日常的にこれほど多くの有害な情報にさらされていることも知らされました。

ある日突然やってくる迷惑メール、興味本位で開けてしまったら大変なことになると思われるメールばかりです。パソコンや携帯を持った時点で、身の回りの危険や犯罪のリスクを負うことになります。携帯電話会社にフィルタリング設定の活用が有効ですが、100%防止することは無理です。自分の身を守るために、日頃から準備や心構えが大切です。

① 迷惑メールへの返信、送信者に連絡を取るなどの行為は、絶対にしない。開封せず削除。

モニターから No. 25